

### 〈キウイヒメヨコバイ〉

学名：*Alebrasca actinidiae* Hayashi et Okada

#### 1. 被害

北多摩のキウイフルーツ（品種：ハイワード）園に発生した。葉裏に寄生する成虫および幼虫の吸汁加害により、葉枯れや落葉を生じる。

#### 2. 生態

成虫は5-11月に発生。年3-4化し、枝の芽基部に産みつけられた卵態で越冬する。翌年4月ごろから展葉まもない葉上に幼虫が現れ展葉後は葉裏の葉脈に産卵する。

#### 3. 防除

- 1) 未発生地では採穂や苗の移動による持ち込みに注意する。
- 2) 成虫の発生の有無、発生量は黄色粘着板や100W水銀灯によって行う。
- 3) 成虫・幼虫とも薬剤の感受性は高く、ディプレックス乳剤、スカウトフロアブル、アグロスリン乳剤、スプラサイド水和剤の効果が高い。

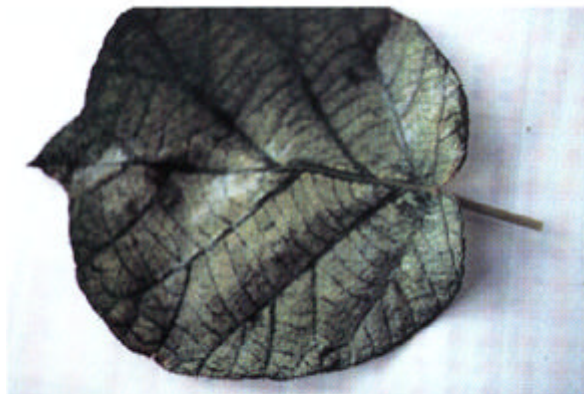
#### 4. 記事

本種は1994年10月、北多摩で発生した。

### 〈キウイヒメヨコバイ〉



成虫（緋色は雄）



褪色した被害葉



多発した園